

令和2年度第二次長野市環境基本計画後期計画の 取組結果及び令和3年度指標・目標値等の設定について

長野市環境マネジメントシステム(NEMS)による取組

環境負荷の低減を図り、環境に配慮した事務事業の実施を推進する
同システムにより、次の取組を行っている。

- ① 第二次長野市環境基本計画後期計画の進行管理
- ② 市有施設におけるエネルギー使用量の一元的把握
- ③ 環境監査の実施
- ④ PDCAサイクルによる次年度への取組の反映 など



第二次長野市環境基本計画後期計画の計画期間の取組
結果を報告するとともに、令和3年度の指標・目標値を
設定するもの

SDGsの達成に向けた取組を推進



第二次長野市環境基本計画後期計画の取組結果について 2

基本目標	令和2年度の 取組結果	主な未達成項目
	目標値の設定数22 達成 10 未達成 12	
①循環型社会の実現	4指標中、達成3	市民の一人1日当たりのごみ排出量
②良好な生活環境の保全	4指標中、達成3	ポイ捨て吸い殻本数
③豊かな自然環境の保全	4指標中、達成0	豊かな自然が保たれている (アンケート指標)
④豊かで快適な環境の創造	3指標中、達成2	景観やまちなみが美しい地域である (アンケート指標)
⑤低炭素社会の実現	5指標中、達成2	温室効果ガス年間排出量
⑥市民・事業者・行政の 連携強化と人づくりの推進	2指標中、達成0	環境学習会年間参加者数

令和3年度の指標・目標値について

3

☆新たな指標・目標値の設定

指 標		実績値 (R2)	目標値 (R3)	計画目標値 (R3)
基本目標1 循環型社会の実現				
ごみの総排出量	↘	122,241t	122,241 t	124,724t
市民の一人1日当たりのごみ排出量	↘	433g/人・日	411 g/人・日	411g/人・日
事業系ごみ年間排出量	↘	35,618t	39,757 t	39,757t
マイバッグ持参率	↗	89.8%	89.8%	80.0%
基本目標2 良好な生活環境の保全				
大気環境基準達成項目数	→	15項目	15項目	15項目
市内中小河川13河川のBOD平均率	↘	1.6mg/ℓ	2.0mg/ℓ以下	2.0 mg/ℓ以下
地区環境美化活動のごみ回収量	↘	13,749.9kg	21,500kg	21,500kg
ポイ捨て吸い殻本数 (月平均本数：長野大通り10か所)	↘	122本	70本	70本
基本目標3 豊かな自然環境の保全				
豊かな自然が保たれている	↗	72.5%	73.6%	73.6%以上
間伐面積（累積面積）	↗	8,020ha	8,220ha	9,500ha
森林体験参加者数（年間人数）	→	1,386人	2,150人	2,150人
エコファーマーの認定者数	↗	122人	200人	1,089人

※矢印については、計画策定時(H27)における現状値から計画目標値に向けた時の上昇(↗)、下降(↘)、維持(→)を表すもの

令和3年度の指標・目標値について

4

☆新たな指標・目標値の設定

指 標		実績値 (R2)	目標値 (R3)	計画目標値 (R3)
基本目標4 豊かで快適な環境の創造				
市民一人当たりの都市公園面積	↗	7.82㎡	7.87㎡	9.19㎡
市内中小河川9河川の水質階級	↘	10点	11点以下	11点以下
景観や町並みが美しい地域である	↗	60.5%	62.2%以上	62.2%以上
基本目標5 低炭素社会の実現				
温室効果ガス年間排出量	↘	2,217,441t-CO2 (H29)	1,878,400t-CO2	1,878,400t-CO2
市民一人一日当たりの温室効果ガス排出量	↘	16.22kg-CO2 (H29)	14.08kg-CO2	14.08kg-CO2
太陽光発電設備規模（累計）	↗	145,316kW (R1)	160,000kW	160,000kW
木質バイオマス燃料需要量の推計値 (灯油換算（ℓ））	↗	254,305 ℓ	275,175 ℓ	330,000 ℓ
再生可能エネルギーによる電力自給率 (発電設備容量)	↗	54.7% (R1)	60.0%	60.0%
基本目標6 市民・事業者・行政の連携強化と人づくりの推進				
環境保全活動参加者数	↗	1,814人	4,700人	4,700人
環境学習会年間参加者数	↗	2,683人	5,200人	5,200人

※矢印については、計画策定時(H27)における現状値から計画目標値に向けた時の上昇(↗)、下降(↘)、維持(→)を表すもの

令和2年度市有施設のエネルギー使用量

5

長野市役所も一事業所として削減に努めなければならない。

種類別	R2 使用量	R2原油 換算量 (kℓ)	R1原油 換算量 (kℓ)	前年度比(kℓ) " (%)	R2 割合 (%)	主な増減の理由
電気	80,742 MWh	20,769	21,257	△488 (△2.3%)	74%	(増)第一学校給食センターの稼働、学校への空調設備設置数の増加(R2年度24校の増)、学校や庁舎で、換気をしながら空調設備を使用していたこと (減)大規模なイベント等を行う施設が、新型コロナウイルス感染症の感染対策の観点から、利用が制限されたこと
都市ガス	3,897,671 m ³	4,224	4,010	214 (+5.3%)	15%	(増)第一学校給食センターが稼働したこと (減)サンマリーンながので、支出抑制のため、バックアップとして待機稼働させていた都市ガスボイラーを停止したこと
プロパン ガス	133,358 m ³	348	370	△22 (△5.9%)	1%	(減)第三学校給食センターが廃止となったこと
ガソリン	392 kℓ	350	375	△25 (△6.7%)	1%	(減)新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、イベントが中止となったことや、ウェブ会議の普及
灯油	2,315 kℓ	2,192	2,164	28 (+1.3%)	7%	(増)学校や庁舎で、換気をしながら暖房器具を使用していたこと (減)観光施設等の利用者の減少
軽油	346 kℓ	337	309	28 (+9.0%)	1%	(増)学校への空調設備設置数の増加(ディーゼル発電電源、R2年度6校の増加)、学校において、換気をしながら同設備を使用していたこと
A重油	197 kℓ	198	413	△215 (△52.1%)	1%	(増)水道施設で、特高設備の点検を行った際の運転を発電機で賄ったこと (減)第三学校給食センターが廃止となったこと
合計		28,417	28,898	△481 (△1.7%)	100%	

令和2年度長野市役所温室効果ガス排出量

種類別	R2 CO2排出量(t)	R1 CO2排出量(t)	前年度比(t) " (%)	R2 割合(%)
非エネルギー起源	1,892	1,873	+19 (+1.0%)	4%
エネルギー起源	48,859	51,403	△2,544 (△4.9%)	96%
合計	50,751	53,276	△2,525 (△4.7%)	100%

※非エネルギー起源：燃料の焼却以外の要因で発生・排出される二酸化炭素（CO2）
エネルギー起源：燃料の燃焼で発生・排出されるCO2

【参考】 4.7%の減少の理由

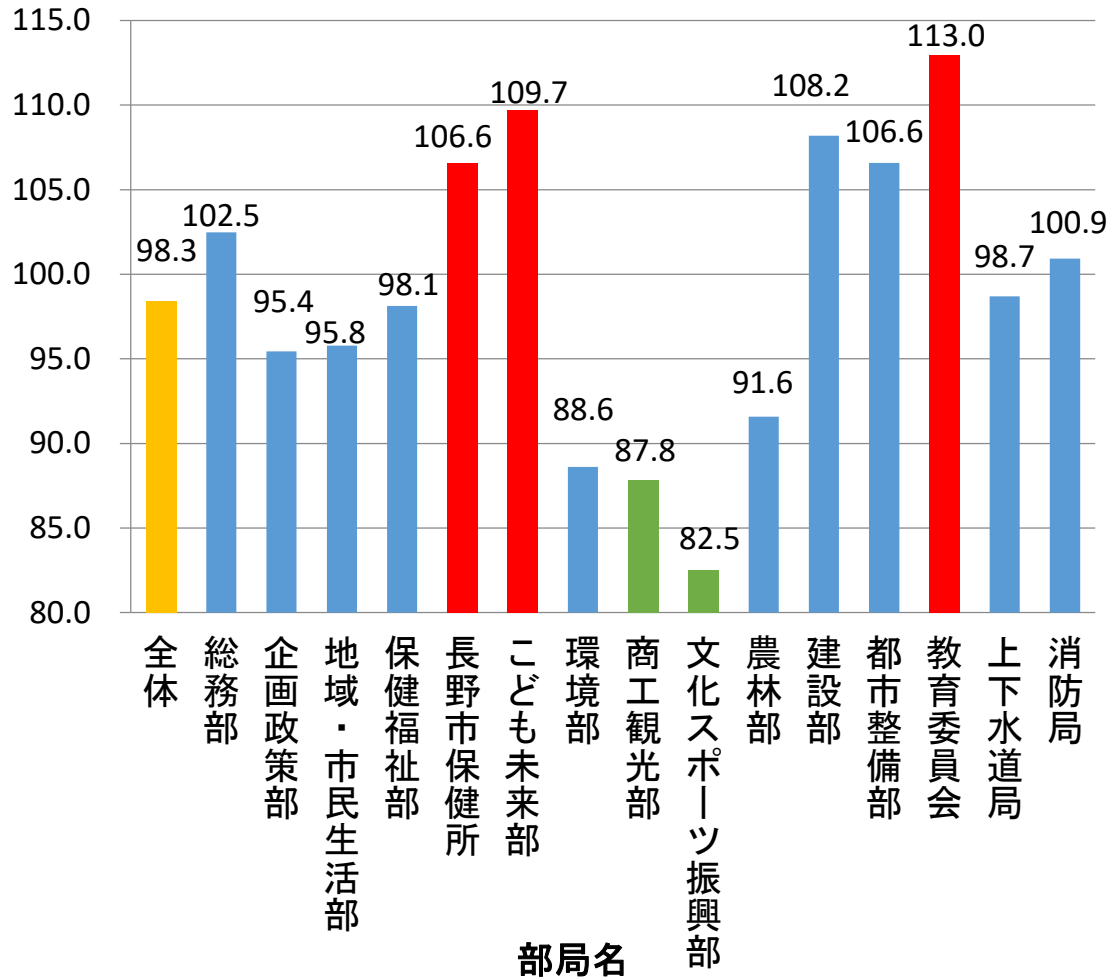
新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、大規模なイベントを行う施設等の利用が制限されたことによりCO2排出量が減少した。

CO2 排出量 △ 2,525 t -CO2
比 比較 △ 4.7 %

新型コロナウイルス感染症によるエネルギー使用量への影響①

令和2年度部局別エネルギー使用量(前年度比)

%



●新型コロナウイルス感染症の影響で増加した部局

教育委員会、こども未来部、保健所等

暖房・冷房中も換気せざるを得なかったために、エネルギー使用量が増加

●新型コロナウイルス感染症の影響で減少した部局

文化スポーツ振興部、商工観光部等

イベントや集会等の中止により、施設の使用頻度が減ったために、エネルギー使用量が減少

●市有施設デマンド監視装置

電力使用量の瞬時値を監視し、最大デマンド値を超えそうになった時に警報を鳴らすことで、基本料金を抑制するとともに、見える化による節電意識の向上を図り、電力使用量及び料金を削減するもの

R2年度は、電力使用量の多い、学校63施設、支所・公民館7施設等、98施設に設置

最大デマンド値

過去1年間のうち、30分間で使った最大電力を表し、これにより基本料金が決まる。

令和2年度 デマンド監視装置導入施設の電力使用状況

	単位	年間使用量		増減率	
		導入前	R2年度	導入前比	
98 施設	年間最大電力合計 [kW]	8,378	9,959	1,581	18.87%
	年間使用電力量合計 [kWh]	19,513,823	17,710,662	△1,803,161	△9.24%
	料金計 [円]	473,674,305	480,770,010	7,095,705	1.50%

※基本料金単価は1,800円/kW
従量料金単価は15円/kWh
※過去のデータと比較できない
ケースは除く

学校へのエアコン設置や、換気をしながらのエアコン利用により最大電力が増加(基本料金増)

※R2年度にデマンド監視装置が設置されており、商用電源を使用するエアコンを設置した学校は20校

導入前比約700万円の料金増(R1年度の実績では導入前比約3,100万円の削減)

[今後の方針]

上昇してしまったデマンド値を下げ、電力使用量及び料金の削減を図るため、設置の継続を検討

市役所における環境に配慮した主な取組

①ごみ発電電力の学校施設への導入による効果

※＊は推計値

	電力使用量 (kWh)	日立造船		中部電力+その他		バイオマス電力による削減量	
		CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)	CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)	CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)
令和1年	9,366,570	505.79	204,885,188	*4,249.26	*230,435,516	△3,743.5	△25,550,328
令和2年	10,231,311	1,401.69	212,118,592	*4,136.29	*242,633,387	△2,734.6	△30,514,795

・電気料金：年間約3,000万円の削減 ・CO2排出量の削減：年間約2,700tの削減（R2年度）

②木質バイオマス発電電力の第二庁舎への導入による効果

※＊は推計値

	電力使用量 (kWh)	お山の発電所		中部電力		バイオマス電力による削減量	
		CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)	CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)	CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)
令和1年	913,988	21.02	20,050,352	*435.06	*21,491,054	△414.0	△1,440,702
令和2年	974,245	25.33	19,525,773	*463.74	*21,033,004	△438.4	△1,507,231

・電気料金：年間約150万円の削減 ・CO2排出量の削減：年間約400tの削減（R2年度）

新型コロナウイルス感染症の対策で、換気を行いながら空調設備等を使用したことにより、使用電力量は増加したが、バイオマス発電電力を導入したことによって、CO2排出量、電気料金は抑えられた。

※R2排出係数(kg-CO2/kWh)

日立造船：0.137

お山の発電所：0.026

中部電力：0.431

環境にやさしい取組チェックリスト「C3リスト120」を活用しよう



未来の
ために、
いま選ぼう。

不要な照明の消灯

- 昼休みや就業後の不要な照明は、速やかに消灯する。
- トイレから出るときは、消灯する。(家でもやってるでしょ^o^)
- 蛍光管や電球を可能な限り間引く。

☆関連する取組

555運動

*午後5時55分に庁内放送を流し、消灯を促す。

一年で約480万円
削減の効果！

みんなで実行すれば
年間で約**500**万円
節約できるニャ！

階段利用の促進

- 階段を使用し、エレベーター利用を減らす。
(体脂肪も減らしてしまえ^o^)

3階程度の上り下りは基本的に階段を利用しよう。

☆関連する取組

木曜日の階段利用

*毎週木曜日は積極的に階段を利用するように呼び掛け、健康の増進にも繋げる。



パソコンの節電に配慮した使用



- 長時間自席を離れる時、パソコンはシャットダウンする。
- 使用していない電気製品は、極力、コンセントを抜く。
- パソコンには、個別スイッチ付タップを利用し、待機電力をカットする。

→退庁するときにレイアウト上可能な範囲でACアダプターの電源を抜くのも効果あり。

一年で約16万3千円削減の
効果！

空調の適正な利用



- 不要なエアコンの使用を控える。
(室温は、冷房28℃、暖房19℃が目安)
- ブラインドやカーテンを活用し、空調効果を高める。
- クールビズ、ウォームビズを推奨する。
(体調にも合わせて自分で調節)
- 猛暑や厳しい寒さに耐える体力をつける。
(これも大事なことだね。)

本庁におけるエアコンの効きすぎや、風向きの調節については、庶務課までご相談ください。

マネジメントレビュー

記録作成 令和3年6月28日

- 第二次長野市環境基本計画後期計画の最終年度にあたり、目標値が未達成となった指標を中心に目標を達成させるよう効果的な取組の工夫、改善を図ること。
- 新型コロナウイルス感染症対策に伴い、エネルギー使用量が増加する中で、省エネ行動の徹底や効率的な事務事業の推進を図り、エネルギー使用量を可能な限り抑制すること。
- 引き続き、各所属において、関係法令等の確認を行うとともに、遵守すること。

署名 加藤 久雄